

平成 28 年 2 月 1～5 日付

ホツマツタエ講座

占い結果 アハラの解説

ホツマツタエ研究家 吉田 六雄

まえがき

アマテル神が選定したフトマニの128番中2番の「アハラ」の意味について、ホツマツタエ全文を通じて 下記のように解説文を作成しましたので ご覧下さい。

128番中2番

本文

㊦ ㊧ ㊨

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫

㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳

㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

㊻ ㊼ ㊽

解説

天原

古代の政庁である**天の原**は、ハラミ山の南麓にあり、アマカミ（天神）を初め各地より八百万**神の集つまる**所でありました。

直訳文

天原

天の原は 神の集
つまる 人の原 為付（しつ）
くに業の 道ぞ生
みける

その天の原の都には、日本の各地より大勢の神（八百神）が押し寄せて来て、恰も国神の**人の原**の様相を呈しておりました。

解説の補足

シツクニを「シヅクニ」とするか、「シツクニ」するかにより訳が、下記のように違って来る。

シヅクニ・・・滴に
シツクニ・・・為付くに

その国神の中には、政ことに**為付く**（為慣れる：慣れて熟達する。）ようになり、トミ（臣）となってアマカミ（天神）を助けるものも現れて来ました。

このように政務に励むことこそが**業の道**でもあり、政りことの**道ぞ**。また、優秀なトミ（臣）も**生みける**（育てることができます。）

（原本）

シツクニと記述されている。

（おわり）